【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和２年度学校評価 計画

達成度（評価）
Ａ：十分達成できている
Ｂ：おおむね達成できている
Ｃ：やや不十分である
Ｄ：不十分である

学校名	鹿島市立東部中学校

1　前年度 評価結果の概要	**・生徒は明るく、落ち着いた学校生活ができている。 ・学力向上においては、県平均を下回る学年や教科があり、改善しなければならない。 ・地域の力も活用しながら、生徒のセルフエスティームを高め、キャリア教育の充実を図る。**
2　学校教育目標	**郷土を愛し、『心豊かに　ともに伸びる』 ～　STEP UP!　あいさつ(A)・掃除(S)・勉強(B)　プラスワン　～**
3　本年度の重点目標	**①心の教育の推進（あいさつ・掃除）（豊かな心づくりと体づくりの推進） ②学力の定着と向上（勉強）（確かな学力づくりの推進） ③生きる力の育成（志を高める教育・進路指導の充実） ④地域とともにある学校づくり（開かれた学校づくりの推進）**

4　重点取組内容・成果指標　　**5　最終評価**

（1）共通評価項目

重点取組			具体的取組	最終評価		学校関係者評価	
評価項目	取組内容	成果指標 （数値目標）		達成度 （評価）	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・マイプランを掲示し、常にそれを意識した授業が展開できるように工夫する。	B	・マイプランの成果指標を上回った教師は52.6%。80%には届かなかったが、対話的で深い学びの実践が難しいコロナ禍の中で、各々が工夫して授業を行うことができた。	B	・家庭学習の定着と「面白い授業」を創造してほしい。
	○指導方法の改善・充実	○授業が「分かる」と答える生徒の割合75%以上	・主体的で対話的な深い学びをおこなうためアクティブラーニング等の表現活動や活用力を取り入れた授業に取り組む。 ・授業研究会を計画的に実施する。	A	・12月の生徒アンケートでは「授業がわかる」と肯定的に答えた生徒は87.2%。職員一人一人が、教材や教具などをしっかりと準備し授業に取り組んだ結果でもある。	A	・昨年度より授業が分かると答えた生徒が多くなっている。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・ふれあい道徳の実施。 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を実施する。	A	・12月の生徒アンケートでは「道徳の時間は役に立つ」と答えた生徒が90.4%。「道徳を通して生き方を学んでいる」と答えた生徒が80.0%。学年や学級の特性に応じた道徳の授業を行っているからだと思われる。	A	・生徒の道徳への評価は高いと思われる。ゴミを拾ったり、ものを大切にする心が育まれていて良いと思う。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○職員のいじめ問題への対応や取組に対する、生徒評価、保護者評価で、80%以上	・毎月、生活アンケートを実施し、生徒指導主事を中心に全職員で生活面での問題の早期発見・早期対応につなげる。	B	・12月の生アンケートで「先生が思いやりをもって接してくれる」と答えた生徒が95.0%。「いじめ防止に取り組んでいる」と答えた保護者は67.6%と低かった。コロナ禍で参観等学校へ来ることが少なくなった事も一因と考えられる。	B	・保護者の評価が低い。学校はもっと理解を得られるよう、丁寧な説明と対応をしてほしい。
	◎夢や目標を持ち、その実現のための進路指導の充実	○自分の将来のために努力を惜しまない生徒の割合80%以上	・キャリアパスポートを利用し、学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりさせ、自分の進路について意欲的に考えさせる。 ・SGE等を利用して自己肯定感や有用感を高める。 ・地域の教育資源や人材をいかした体験活動や講演会を実施する。	B	・12月の生徒アンケートで「自分の将来のために努力している」と答えた生徒は79.9%。「自分にはいろんな可能性がある」と答えた生徒が73.1%。 ・校外に出かけての学習や、地域の方々を招聘しての学習ができなかったコロナ禍の中で、ドリームボード学習などを行い、生徒の夢や将来の自分について考えさせることができた。	A	・「将来のために努力している生徒」は79.9%とほぼ目標を達成している。生徒に夢や希望を持たせることは大切である。ドリームボードについてはできれば今後も続けてほしい。
●健康・体つくり	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「安全に関する資質・能力の育成」	○遅刻率(遅刻延日数÷出席延日数×100）1.5%未満 ○「早寝早起き朝ごはん」ができている生徒の割合80%以上 ●児童生徒の交通事故を0（ゼロ）にする	・フォーサイトを利用し、自己管理できる力を養う。 ・各種たよりを発行し、保護者の啓蒙を行う。 ・生徒を安全に登下校させるため、定期的に交通指導を行う。	A	・朝ご飯を毎日食べている生徒は95.9%。 ・ﾌｫｰｻｲﾄを利用し時間理ができている生徒80.3%。 ・遅刻率は1.6%。 ・児童生徒の事故は0件。	A	・毎朝ご飯を食べている生徒は95.9%で目標を達成しているが、4%ほどは食べていない。家庭的にも難しい状況なのかもしれないが、この4%を何とかしなければいけないのではないか。 ・生徒が事件や事故に巻き込まれることがなかったので本当に良かった。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する	・定時退勤日、部活動休養日の設定 ・業務内容を精選する。また、業務を分担し、一人に過重負担がないようにする。	B	・自主的残業時間の12月までの月平均が38.9時間で45時間を下回った。しかし、月平均が45時間を超える職員もいる。	A	・部活動等もあり先生方の業務が忙しい事は分かっている。そのような中で45時間を下回ったのは評価しても良いのではないか。
	○働き方改革の推進	○職員からの業務改善に関する提案が年間で5件以上	・業務改善の提案を積極的に職員が行える環境を整える。	B	・大きな業務の改善案の提案はないが、小さな改善や工夫は各学年、各分掌で行われている。 ・独自の掲示板を利用し連絡など行う事で、会議の回数を減らした。	B	・自主的残業時間が若干ではあるが減ったのは先生方の工夫があったからではないか。

（2）本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			具体的取組	最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 （数値目標）		達成度 （評価）	実施結果	評価	意見や提言
○あいさつや掃除の充実	○「あいさつ」や「掃除」の充実	○生徒が「元気よくあいさつができている」と答える保護者の割合が80%以上 ○「掃除がきちんとできている」と答える生徒の割合が90%以上	・生徒会やPTAと連携してあいさつ運動を行う。 ・掃除のときも職員が臨場指導し、その都度生徒を評価する。	A	・12月生徒アンケートで「掃除ができている」生徒は97.7%。「挨拶ができている」生徒は98.2%。職員が常に、生徒とともにある教師を心がけている結果である。	A	・生徒は学校の中でも外でも元気な挨拶をしてくれる。気持ちが良い。
○地域とともにある学校づくり	○地域とともにある学校づくり	○「地域に誇りを持っている」と答える生徒の割合が80%以上	・ボラティア活動に積極的に参加させる。 ・保護者が行事に参加しやすい日程を設定したり、内容を工夫する。 ・サービスラーニングを行う。 ・HPを使って積極的に情報発信を行う。	A	・12月生徒アンケートで「鹿島市に住んで幸せ」と思う生徒は90.4%。 ・細心の注意を払いながら、吹奏楽部が地域に出向き演奏したり、生徒会が中心となり地域清掃のボランティア活動を行った。	A	・コロナ禍で難しい面もあったと思うが、地域と共にある学校を目指し活動されていた事はよく分かった。今後は更に地域の人材を活用するなどして郷土愛を育んでほしい。

●･･･県共通　○･･･学校独自　◎･･･志を高める教育

5　総合評価・ 次年度への展望	・アンケートの結果を見るとほとんどの生徒が充実した学校生活を送っていることがわかる。職員が生徒一人一人のことを考えて教育活動に取り組んでい査証である。諸問題に対して学年・学校でいち早く共通理解を図り、組織的に取り組んでいる結果、明るく、落ち着いた学校づくりにつながっている。 ・生徒の学力については、県平均を下回る学年や教科があり、改善するための取り組みが課題である。次年度は、本年度以上に実践的な授業研究に取り組み、職員の教授スキルを向上させ、引いては生徒の学力向上につなげたい。 ・地域や家庭と一体となって教育を進めなければいけないが、コロナ禍の中では難しいものがあった。ICT機器を効果的に活用するなどして、連携を図らなければならない。